SNARK 取り扱い説明書

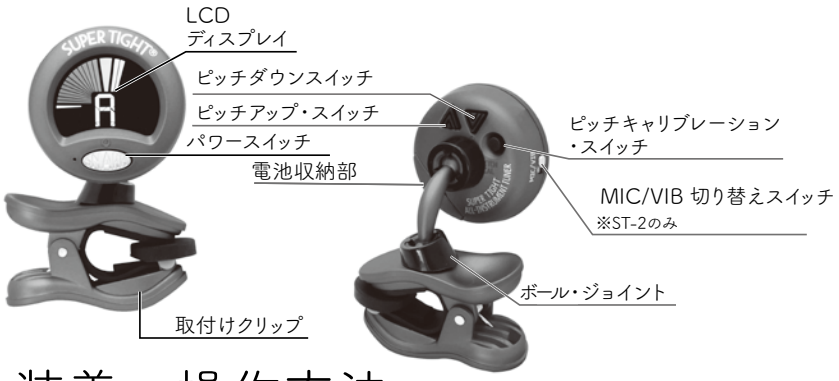
使用上の注意

・お子様の手の届かないところに保管してください。
電池を飲み込むと死に至る危険性があります。また短時間で高熱を発する危険性があります。万が一飲み込んだ場合はすぐ医療機関へ行って下さい。

・火災/爆発/やけどの危険性
古いバッテリーはすぐに破棄して下さい。再充電、分解、間違った使い方等の行為は高温になり、火災を引き起こす原因となりますので絶対にしないで下さい。ポケットや財布(ハンドバッグ)にバッテリーを入れて持ち歩かないようにして下さい。

各部名称

◆ SN-1X・ST-2・ST-8・SN-5GX・SIL-1



◆ HZ-1

装着・操作方法

◆ 楽器への取り付け

SNARKクリップチューナーは、楽器へ本体のクリップで挟んで取り付けます。取り付ける際には楽器に傷などが付かないように注意して下さい。また、SNARKのクリップ部は傷などが付きにくいように楽器と触れる内側部分にラバー(ゴム)パッドを使用しています。取り付ける楽器の塗装や仕上げ方法により塗装焼けや割れ、くすみといった問題が発生する可能性がありますのでご注意下さい。

①ギターへの取り付け
ギターのヘッド先端部をクリップで挟んで取り付けます。ヘッドの表側、裏側でチューナー・ディスプレイが見やすい方にセットして下さい。

②その他楽器への取り付け
楽器の振動を感知しやすい部分にクリップで挟んで取り付けます。

※ST-2ではMIC/VIBの切り替えスイッチでマイク(MIC)側を選択することで、振動ではチューニングしづらい楽器からの実音を感知しチューニングすることができます。そのため譜面台等にクリップで取り付けてチューニングすることも可能です。

SNARKクリップチューナーは楽器に取り付けた後、チューナー・ディスプレイ本体とクリップ部及び接合しているアームが固定されていませんので角度が自由に変えられます。またチューナー・ディスプレイ本体部分も360度回転させることが可能ですので、見やすい位置にセットすることができます。ただし、力ずくで無理に動かしたり、動かす際に落としたりすると本体が破損してしまいます。また楽器にも傷を付けたりする可能性がありますので注意して操作して下さい。

注意

楽器を収納する際には必ずSNARKクリップチューナーを取り外して下さい。付けたまま長時間経過すると楽器の塗装や仕上げに悪い影響(塗装焼けや割れ、仕上げの曇り、くすみ等)が出る可能性があります。短時間の装着でも、塗装の経年変化、状態等により悪影響が出る可能性があります。

◆ 電源の入れ方

ディスプレイ下のパワー・スイッチを押すことでチューナーが作動します。

◆ ピッチキャリブレーション(基準ピッチの変更)

※SN-1X SN-5GX HZ-1には搭載されていません。

A=440Hzに基準設定されていますが、ピッチキャリブレーション・スイッチを押し、ピッチダウンもしくはピッチアップ・スイッチを押し操作することで、A=415～466Hzの間で基準ピッチを変えることが可能です。基準ピッチを変えた後、A=440Hzに戻したい時はパワー・スイッチを押すと元に戻ります。尚、パワー・スイッチを操作した時点で基準のA=440Hzに戻りますので、基準ピッチを変更したい場合はその都度設定を行って下さい。

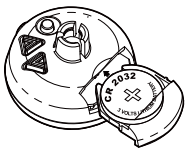
◆ オートパワーオフ機能

2分間無音の状態が続いた場合は自動的に電源がOFFとなります。

◆ 自己診断テスト機能

SNARKチューナーは電源を入れた時、まれに正常動作しない場合がございます。それは''自己診断テスト''機能が動作しているためです。数秒で完了したのちに正常にご使用いただけますので、異常ではございません。

◆ 電池交換



SNARKクリップチューナーはボタン型電池のCR2032(3V)×1個で動作しています。**ディスプレイ表示が暗くなったままとなり見にくくなった時やチューナーが作動しなくなった時は新しい電池と交換して下さい。(※付属の電池はサービス品のテスト用ですので、新品電池よりも早く電池切れとなる場合があります。電池の交換はいたしかねます。)**交換する際は本体電池収納部を外側に引き出して頂き、電池の＋－を間違えないように古い電池から新しい電池へ交換し、スライドさせる要領で電池収納部を本体へセットして下さい。この時、無理に電池収納部を引き出したり、セットしたりすると内部の回路が破損してしまう場合があります。注意して交換を行って下さい。

注意

・お子様の手の届かないところに保管してください。
飲み込むと死に至る危険性があります。また短時間で高熱を発する危険性があります。万が一飲み込んだ場合はすぐ医者に診てもらうか救急で病院に行って下さい。

・火災/爆発/やけどの危険性
古いバッテリーはすぐに破棄して下さい。再充電、分解、間違った使い方等の行為は高温になり、火災を引き起こす原因となりますので絶対にしないで下さい。ポケットや財布(ハンドバッグ)にバッテリーを入れて持ち歩かないようにして下さい。

◆ ヘルツチューニング方法

※HZ-1 のみ搭載されています。

HZ-1にはヘルツチューニング機能が搭載されております。チューナー裏側にある"Hzボタン"を押すことで、ヘルツチューニングを行うことが出来ます。各弦を、表の順番に沿ってチューニングします。(何度でもチューニングできますが、表の上から順にチューニングして下さい。) ヘルツチューニングをキャンセルするには、ONボタンを再度押すか10秒間無音の状態でお待ちいただければキャンセルされます。再びヘルツチューニングを行う場合、Hzボタンを再度押して下さい。
※通常チューニング後にヘルツチューニングを行って下さい。
※下記の表は平均律指標での数値です。数値は絶対では有りません。
感応に合わせて微調整して下さい。

ギター(基準ピッチ 440Hz)の場合

低音弦から順に行ってください。	
6弦(LOW E)	…82.4Hz
5弦(A)	…110.0Hz
4弦(D)	…146.8Hz
3弦(G)	…196.0Hz
2弦(B)	…246.9Hz
1弦(HIGH E)	…329.6Hz

ギター(基準ピッチ 442Hz)の場合

低音弦から順に行ってください。	
6弦(LOW E)	…82.8Hz
5弦(A)	…110.5Hz
4弦(D)	…147.5Hz
3弦(G)	…196.9Hz
2弦(B)	…248.1Hz
1弦(HIGH E)	…331.1Hz

ベース(基準ピッチ 440Hz)の場合

高音弦から順に行ってください。	
1弦(G)	…98.0Hz
2弦(D)	…73.4Hz
3弦(A)	…55.0Hz
4弦(E)	…41.2Hz
5弦(B)	…30.9Hz

ベース(基準ピッチ 442Hz)の場合

高音弦から順に行ってください。	
1弦(G)	…98.4Hz
2弦(D)	…73.8Hz
3弦(A)	…55.3Hz
4弦(E)	…41.4Hz
5弦(B)	…31.0Hz